

全国の教師たちが授業指導力を熱く競い合う

「チョコレートで教育改革を」をテーマにした「全国模擬授業大会 in 名古屋—教育の力 2023—」が今年も10月22日(日)に行われた。全国の塾の教壇に立つ教師たちが授業での「話法表現力」「板書」「指導内容」「論理展開」「工夫」「納得感」を競い合うイベントだ。コロナの影響により、2020年と2021年の大会は中止となったが、昨年から再開されている。会場は例年通り、学校法人名古屋学院 名古屋中学校・高等学校だ。11回目を迎えた今年の大会に参加したのは58団体で、出場者は43名である。この43名が全国の塾の代表を始めとする審査委員を前に、約15分間の模擬授業を披露した。

生徒のために、やる気を引き出す授業を

名古屋中学校・高等学校のチャペルで行われた開会式では、まず、主催者である野田塾取締役塾長の三輪宏氏が挨拶。先日亡くなった同僚の先生とともに教えた日々を振り返りつつ、次のように述べた。「彼は生徒思いの熱い心を持った男で」



主催者挨拶を述べる野田塾 取締役塾長 三輪宏氏

した。ですから、今日は皆様、どうか熱い授業を見せてください。生徒が心から喜ぶ授業を見せてください。彼がそれを一番喜んでくれるだろうと思うからです」



会場校挨拶を述べる、名古屋中学校・高等学校の学校長 永田久喜氏

次に名古屋中学・高校校長の永田久喜氏が挨拶。続いて、来賓や審査員の紹介、審査方法などの説明が行われた。その後、出場者を代表して開倫塾の関口雅子先生が選手宣誓。



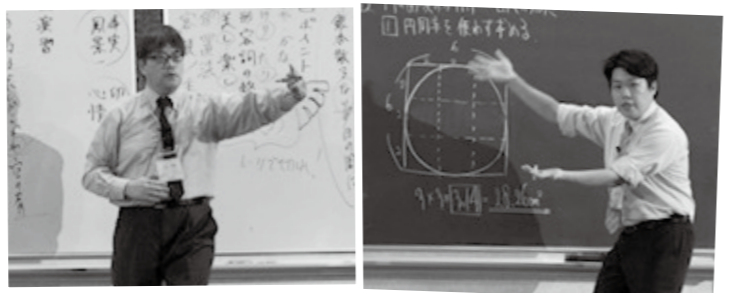
部門別チャンピオンに選ばれた5名

心に強く響いた 模擬授業の数々

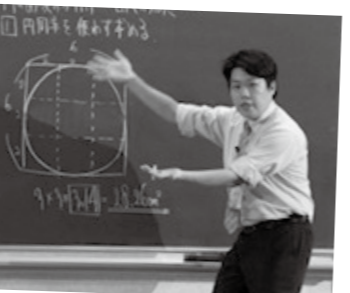
開会式終了後、会場を校舎に移し、部門別予選と部門別チャンピオン決定戦へ。英語・国語・数学・理科・社会・ルーキー(新人)の部門ごとに教室に分かれ、熱戦が繰り広げられた。午後2時から、再びチャペルを会場にして、グランドチャンピオン決定戦がスタート。各部門のチャンピオンが発表されるたびに、会場から大きな歓声があがる。そして受賞者5名が登壇し、予選で行った模擬授業をさらにパワーアップさせて展開した。

数学部門の野田塾・渡邊友宣先生の授業の単元は「円周率」(中1)だ。円周率を使わずに円の面積を求めるという古代の知恵を活用して、灘中学校の入試問題を解く方法を解説した。

国語部門は(株)アガトス創学舎 片岡秀樹先生の「短歌」(中2)。助動詞「けり」や「たり」の「り」、形容詞「美し」「美し」の「し」といった短歌の区切れについて説明し、短歌の味わい方を熱く伝えた。



(株)アガトス 創学舎 片岡秀樹先生(国語)



野田塾 渡邊友宣先生(数学)



eisu 津駅前校 稲垣伸樹先生(社会)



開倫塾 関口雅子先生(英語)



野田塾 永田萌先生(ルーキー)



NEVER TOO LATE 岡本澄香先生(理科)

この大会のために多くの時間を注いだ先生方に感謝

先生が模擬授業を披露。教科は社会で、単元は「武士の誕生」(中1)だ。そして、いよいよ結果発表へ。グランドチャンピオンの栄光を手にしたのは、社会部門のeisu 津駅前校・稲垣先生である。名前が読み上げられ、

「名古屋中学校・高等学校様、そして開倫塾の皆様。皆様のご助力なくして、今回の大会は実現には至らなかつたと思います。また、審査員やご来場の皆様、多忙中、本大会に駆けつけていただき、感謝の気持ちしかございません。最後に出場者の皆様。皆様の知恵、心、多くの時間を注いだ授業があつたからこそ、本大会は成立したと我々は思っております。本当にあり

がとうございました。来年の5月26日(日)には、開倫塾様主催による第17回全国模擬授業大会が栃木県足利市で行われます。皆様の参加をお待ち申し上げております」

チョコレートで教育改革を

全国模擬授業大会 in 名古屋 教育の力 2023 (主催・野田塾) 各賞受賞者(敬称略) 個人賞 グランドチャンピオン eisu 津駅前校 稲垣 伸樹(社会) 準グランドチャンピオン (株)アガトス 創学舎 片岡 秀樹(国語) 部門別チャンピオン 野田塾 渡邊 友宣(数学) 開倫塾 関口 雅子(英語) NEVER TOO LATE 岡本 澄香(理科) ルーキー部門チャンピオン 野田塾 永田 萌(社会) 団体賞 1位 野田塾(愛知県) 2位 eisu 津駅前校(三重県) 3位 開倫塾(栃木県)



お礼の言葉を述べる野田塾 全国模擬授業大会実行委員長 川原英樹氏



団体戦で3位となった開倫塾の先生たち



団体戦で2位となった eisu 津駅前校(三重県)の先生たち



団体戦で1位に輝いた野田塾の先生たち